



「松江市衛生事項並びに右改良方法に関する復命書」

W・K・バルトン

松江市における上水道敷設を計画するため、市は内務省に専門技師の派遣を要請した。

明治28年7月23日、同省御雇工人W・K・バルトンが同省土木監督署技師・高橋辰次郎とともに来松。

意宇郡各地に加えて目無水の調査も行った。

調査は、足かけ3年目の明治31年4月にすべてを終え、その結果を翌32年「松江市衛生事項並びに右改良方法に関する復命書」にまとめ、内務大臣に提出している。

その中の「松江市高圧給水工事に関する設計」の項で、バルトンらは「サミズ泉を以て最上の水源地に指定せり」と記している。

サミズ泉：現 西忌部町左水